

成長

- 昭和47年
 - 4月 学校給食パン加工民間委託(朝日堂)
 - 6月 町長に千葉雄一氏当選
 - 9月 歌津中学校校舎落成
 - 10月 歌津大橋開通
 - 10月 志津川消防署歌津出張所開設
- 昭和48年
 - 3月 町道泊崎半島線県道に昇格
- 昭和49年
 - 2月 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設(開校百年記念)
 - 7月 上水道事業完成
 - 10月 伊里前小学校屋体・プール落成
- 昭和50年
 - 9月 ウタツギヨリユウ化石、国の天然記念物に指定
 - 10月 国勢調査 人口6,267人 世帯数1,235世帯
- 昭和51年
 - 2月 名足小学校屋体落成
 - 3月 町民憲章制定
 - 6月 町長に佐藤榮太郎氏初当選
 - 8月 名足小学校プール完成
 - 9月 町道弘川線県道に昇格
 - 9月 全町ダイヤル式電話化
- 昭和52年
 - 2月 町花(つつじ)、町木(まつ)、町鳥(かもめ)制定
 - 4月 国土調査事業開始
 - 4月 町史編纂に着手
 - 4月 田束山経塚群、県の史跡に指定
 - 4月 伊里前保育所、泊、港保育園が町立になる
- 昭和53年
 - 6月 町営歯科診療所開設
 - 12月 国有鉄道気仙沼線全線開通(現JR気仙沼線)
 - 12月 名足保育園園舎落成
 - 4月 町営バス運行開始
 - 4月 第1回田束山つつじまつり(歌津音頭発表)
 - 5月 無線放送開始
 - 6月 吉野沢に宅地分譲団地造成
 - 6月 上田クリニック医院開業
 - 6月 歌津歯科診療所(臼井医師)開業
 - 6月 宮城県沖地震発生
- 昭和54年
 - 11月 青年団コーラス全国青年大会最優秀賞受賞
 - 11月 名譽町民に梶原良雄翁推戴
 - 12月 町立港保育園園舎落成
- 昭和55年
 - 6月 町長に佐藤榮太郎氏当選
 - 10月 国勢調査 人口6,156人 世帯数1,271世帯
 - 12月 「クリスマス低気圧」大被害(被害額4億円)
- 昭和56年
 - 1月 保健センター落成
 - 4月 寄木・泊浜・馬場・石浜地区畑地基盤整備事業実施
 - 4月 学校給食共同調理場吉野沢に移転新築
 - 9月 集中豪雨伊里前川氾濫 雨量295.7mm
- 昭和57年
 - 4月 家政学院廃止



集中豪雨伊里前川氾濫(昭和56年)



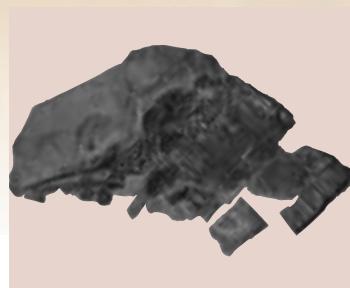
第1回田束山つつじまつり(昭和53年)



町営バス運行開始(昭和53年)



国有鉄道気仙沼線全線開通(昭和52年)



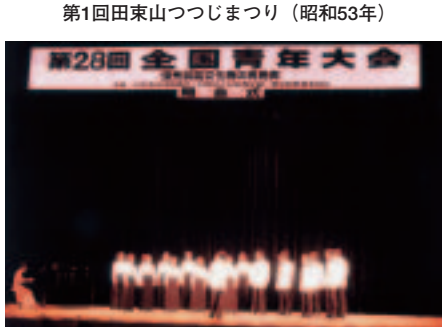
ウタツギヨリユウ化石国の天然記念物に指定(昭和50年)



学校給食パン加工民間委託(昭和47年)



保健センター落成(昭和56年)



青年団コーラス最優秀賞受賞(昭和54年)



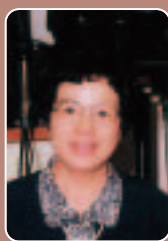
吉野沢に宅地分譲団地造成(昭和53年)



歌津大橋開通(昭和47年)



川での魚とり、天神山での遊び、小さな庭では思いっきり遊んだ。庭には枝の巻かれた紅葉の木があり優しく日影を作ってくれた。この分校で学んだことを誇りに思っている。



(伊里前上) 佐藤 たかしさん

私が通った上沢分校

昭和から平成と隣りに過ぎ70余年、激動の時代である。歌津に生まれ、歌津で生活し、今振り返って見て一番の思い出は、幼い頃の上沢分校での生活だ。「先生がおいでになりました。」歩いてくる先生のお姿を見つけると誰かが知らせる。子供達は遊びをやめ門の両側に2列に並んで待つ、「おはようございます。」「これが上沢分校の1日の始まりだ。1年生から4年生までの複式学級、しかも大人数である。そこで勉強した日々が今でも鮮明に思い出される。

江島先生という男先生で、伊里前から歩いて通われた。私の兄弟11人みんな先生に教わった。先生は一人ひとりの個性を生かした教育をしてくださった。勉強は勿論のこと、ここでの自然学習は今でも忘れられない。

志津川町在住(伊里前下出身) 及川 菊雄さん

あの日の時

追想 役場今昔

南三陸町の誕生は時代の要請とはいえ「歌津町」と言う名が消滅することに万感胸に迫るものがあります。今閉町に当り役場の過去を振り返ると奉職したのが昭和16年9月26日「歌津村給仕を命ずる。日給60銭を給する」勿論無試験採用でした。電話も村内に5台位で役場の機構も庶務と財務にわかれ、職員数は約15人位でした。歴代の任命権者は小沢文隆氏、阿部権之丞氏、千葉茂一氏、牧野興次氏、千葉雄一氏、佐藤榮太郎氏の6人に任せ昭和57年10月定年退職まで38年お世話になり、この間思い出深いものは戦中召集令状や戦死の公報を届けに行って家族に泣かれたことは今でも鮮明に覚えています。戦後は物資の配給、農繁託児所の開設、滞納整理で毎日外勤。社協の法人格取得、保育所の開設、明治昭和の津波犠牲者施設の実施、自衛隊による名小校庭拡張工事等の係を担当。又上下水道の新設と気仙沼線開通祝賀行事の計画、そして一番列車到着の感激は終生忘れられない思い出です。

